

『二十歳のつどい』の準備をしています！

こんにちは。令和7年『二十歳のつどい』実行委員会です。

私たち実行委員のメンバー8人は6月から月に一度、対面とオンラインで委員会の場を設け、来年1月に行われる『二十歳のつどい』に向けて準備をしています。

活動内容は茶話会冊子の内容の検討・決定、ポスターの作成、記念品についての話し合いなど様々です。これまでの会議では、開催場所や日程、メンバーの役割などの話し合いをしてきました。これまで諸先輩たちが行われてきた資料を参考に、よりよい式典にしたいという思いで実行委員会全員が活動をしています。

この度の『二十歳のつどい』では、昨年に引き続きコロナによる開催制限がありません。高校時代にコロナの制限を味わった私たち全員が笑顔あふれ、思い出に残る『二十歳のつどい』となるよう、実行委員会はこれからも精一杯励んでいきますのでよろしくお願いいたします。

『二十歳のつどい』では、様々な場所へ旅立った私たちが故郷である田布施町に集まります。参加者の皆さんが、懐かしい友や、あたたかく教え導いていただいた先生方との再会を喜んだり、いつも見守ってくれる家族、地域の方々にも感謝の気持ちを伝えることができる場となることを心より願っています。

参加者全員が楽しいと思える『二十歳のつどい』となるよう、実行委員会全員で準備をしています。たくさんの方々の参加が式典の成功につながりますので、一人でも多くの参加をお待ちしております。

二十歳のつどい実行委員 隅田 旭一

令和7年『二十歳のつどい』

- ◇対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた人
- ◇日時 令和7年1月4日(土) 午後1時～
- ◇場所 田布施町保健センター(田布施町役場西隣)

令和6年度

田布施町人権教育推進大会

最優秀受賞者紹介

☎社会教育課 ☎52-5813

11月23日(土)に田布施町保健センターで『田布施町人権教育推進大会』が開催されました。大会では、夏休みに町内の小・中学生などから募集した、詩、啓発標語の入賞者を表彰するとともに、今年度の入賞作品集を配布しました。最優秀受賞者は次のとおりです。(敬称略)



最優秀賞

■詩の部 1点

『言葉の旅』 山根 小春(田布施中学校3年)
言葉は旅をする
ねえ、知ってる？
言葉は旅をして、
たくさんの人と出会う、
それから、自分のところに帰ってくる。

本当にその言葉に
旅をさせてもいいの？
その言葉が帰ってきたとき、
あなたは どう思う？
もう一度、考えてみて。
そうすれば、言葉も
いい旅をしてくれるから。

■啓発標語の部 1点

『ありがとう ところをつなぐ あいことば』
寶迫 翠(麻郷小学校2年)

2024 やまぐち発明くふう展表彰式

10月19日(土)～20日(日)に、山口県児童センターにおいて『2024 やまぐち発明くふう展』が開催されました。

本クラブからは2人の作品が入賞し、20日(日)には表彰式が行われました。

表彰式には、当クラブの城英明後援会長も出席し、『失敗は成功の母、作品を作る中で苦しい思いをしたことも大切な糧として頑張してほしい。』と挨拶されました。



◇アイデア賞 田布施西小学校3年生 田原誠人『ピタゴラそうち』



この作品は、赤ちゃんをなきやませるためのピタゴラそうちです。作ったきっかけは、ぼくの弟の赤ちゃんが泣きやまないことがあるので、楽しんで泣きやんでほしいのでこのそうちを作りました。このそうちのしくみは、スタートのところからころがして、はしごのみちに入ってさかころがってゴールのところに入ります。はしごのみちは、止まることがあります。くふうしたところは、カラカラなるレールです。

アイデア賞の作品は全日本学生児童発明くふう展へ推薦され、出展しました。

◇奨励賞 麻郷小学校3年生 松村梅芽『ひきだし』



この作品は、ひきだしです。くふうしたところは、家にひきだしがあるけど、そのひきだしはおくまで手がとどかないから作りたいと思いました。ひもを引っぱりすぎたらひもがちぎれたりしてしゅうりがたいへんだから気をつけた方がいいです。中にゴムをつけてもどるようにしました。

今年も全国少年少女チャレンジ創造コンテストに出場します

12月14日(土)に愛知県で開催される『第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト(からくりパフォーマンス作品づくり)』へ、チーム『なかよしいちじく』の下間祐奈さん(田布施西小学校5年生)、松村花凜さん(麻郷小学校5年生)、松村梅芽さん(麻郷小学校3年生)が出場します。

町長室での出場報告会では、キャプテンの下間さんが『田布施町のことを全国の皆さんに知ってもらえるよう頑張ります。』と力強く決意を発表しました。

